

施 工 要 領 書

張芝キッコウ

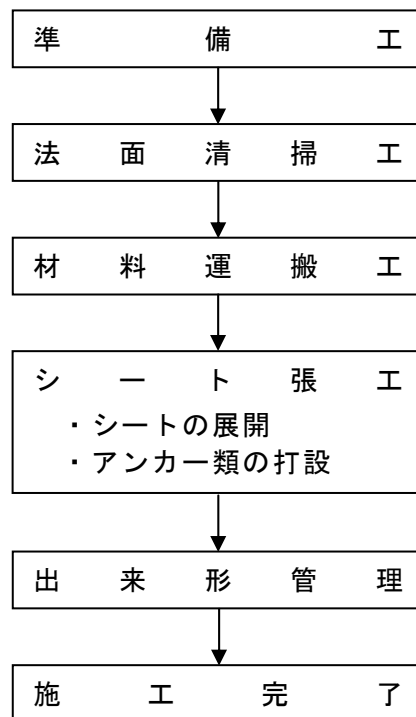
平成 30 年版

1. 概要

本書は、張芝キッコウ（肥料袋無 1重織ネット）【以下、シートと略】の施工要領についてまとめたものである。

施工にあたっては、可能な限り法面にシートを密着させるよう施工することが大切である。

2. 施工フロー



3. 施工手順

1) 法面清掃

施工の支障となるかぶりや浮石，その他の雑物を除去する。

2) 材料運搬

シート，アンカー類を施工箇所に運搬する。運搬は，作業道を使つての小運搬またはロープによる荷揚げ等によって行う。

3) シート張工

- シートを亀甲金網が表面側，種子を装着した紙状シートが地山側になるように法面に展開する。法肩部のシート巻込みは，20 cm程度を目安とする（法面条件による）。

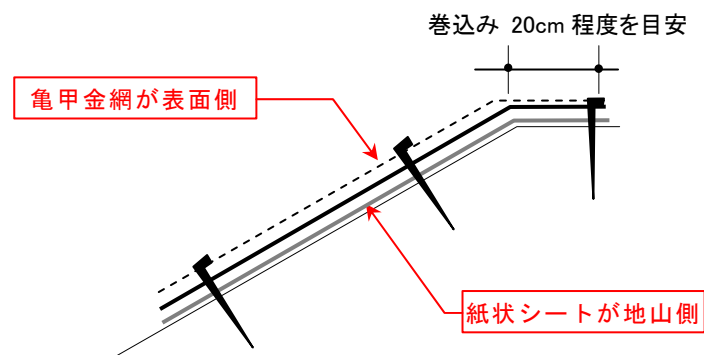


図 1. シートの展開

- アンカー類を所定の位置に打設し，シートを法面に固定する。この際，シートと地山が可能な限り密着するように留意して打設を行う。

そのためには，シートを一気に展開せず足で保持しながら（シートを張った状態にすると密着性を確保しにくい），順次法尻方向に向かってアンカー類を打設してゆくのが望ましい。また，法面の凹凸によりシートの浮き上がりが予想される個所については，増し打ち等を行うのが望ましい。

- シートの重ね合せは，縦方向に 5~10 cm程度，横方向に 2~5cm 程度（シートとシートの上に隙間が生じないこと）を目安とする。

特に縦方向の重ね合せは重要であり，法肩側のシートが必ず上にくるような形で設置を行う必要がある（図 2 参照）。これは積雪害その他の影響により，シートのはがれ等を防止するための処置である。

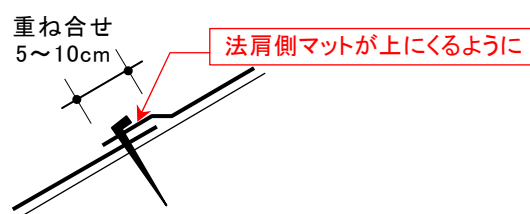


図 2. シート縦方向の重ね合わせ

4. 施工管理

1) 保管

シートは水溶性の素材や種子等を装着しているため、現場内での保管には十分注意する。直射日光や雨水が当たらない場所で保管し、高温多湿の環境にならないよう留意する。

2) 出来形管理

出来形管理については、発注者の検査基準に準ずる。基準がない場合には、シートの敷設完了後、出来形管理としてアンカー類の打設本数を測定する（頻度については、発注者と協議の上、決定する）。なお、法肩部や重ね合せ部等において、アンカー類の仕様や打設本数が異なる箇所がある場合には、必要に応じて別途検測を行うのが望ましい。

以 上